

アイヌの人々が大切にしてきたこと (社会科)

所要時間 50分

対象 中学生以上

1 単元名

江戸幕府の成立と鎖国

2 単元の指導計画

「江戸幕府の成立と鎖国」・・・・・・・・・・6時間（本時6／6）

- (1) 江戸幕府の成立と支配の仕組み
- (2) さまざまな身分と暮らし
- (3) 貿易の振興から鎖国へ
- (4) 鎖国下の対外関係
- (5) アイヌの文化について調べよう
- (6) アイヌの人々が大切にしてきたことについて考えよう

3 本時のねらい

- (1) アイヌの人々の生活について関心をもち、現在に残る文化を大切にしようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)
- (2) アイヌの人々が大切にしてきた文化等について考えたことを文章にまとめ、伝え合う。
(思考・判断・表現)

4 人権教育の視点（アイヌの人々の人権を学ぶ意義）

アイヌ民族に対する問題は、日本における重大な民族差別問題であり、今もなお差別や偏見がある。その一方で、この問題についての歴史的経過やアイヌの人々の闘いはあまり知られてこなかった。アイヌの人々の歴史、文化、伝統及び現状に関する認識と理解を深め、アイヌの人々の人権を尊重する観点から取組を推進し、共生社会の発展のために努力していこうとする。(価値・態度的側面)

5 準備

- ・資料：『イランカラプテ』～アイヌ民族の誇り～（あけぼの 人間に光あれ）6訂版
- ・資料：『アイヌ民族：歴史と現在—未来を共に生きるために—』（発行：財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構）
- ・資料：アイヌの文化や伝統に関するコラムページ「アイヌ文化とその継承」「琉球とアイヌの人々の暮らし」（中学校社会科教科書）

6 展開

過程	学習活動	指導上の留意点
導入	1 前時の学習で各自が調べたアイヌの文化や伝統について確認する。	○生徒が調べてきたことを、学習問題につながるように意味づけていく。
展開	2 本時の学習問題について確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">アイヌの人々は文化や伝統をどんな気持ちで守ってきたのだろう</div>	

<ul style="list-style-type: none"> ・「当時の首相の言葉に抗議したとあるから、自分の文化に対して強い誇りを持っているのだと思う。」 ・「自然が神なのです・・・とあるから、自然のものに感謝して、大事にすることをずっと守ってきたのだと思う。」 ・「アイヌ神謡集をまとめた知里幸恵さんは、伝え聞いてきたお話を大事に後世も残したいと思い、命を懸けてまとめたのだと思う。」 ・「関根摩耶さんのお話から、自分がアイヌであることに誇りを持っていることが伝わってきた。誇りに思っているからこそ伝えたくなるのだと思う。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人がアイヌについて調べてきた知識をもとに、伝統や文化をどんな気持ちで守ってきたのか考えたことを伝え合うように促す。 ○板書で関連する内容を分けながら生徒の発信を意味づけていく。 ○調べた事実だけを伝える生徒に対しては、その発信を認めつつ、その文化をどんな気持ちで守っていこうと思ったのか、想像するように問い返す。
<p>ま 3 振り返りを記入する。</p> <p>と 4 記入したことを伝え合う。</p> <p>め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アイヌ民族のことを考えてきて、「日本人」としての自分のことも考えた。アイヌの人々が伝統や文化を大切に守りたい気持ちは、私の身近なところにある地元のお祭りなどを大切にしている気持ちとつながる部分があると思った。その大事な文化を一方向的に否定されたり奪われたりしたら、とても許せない気持ちになる。お互いを尊重して、一緒に生きていくことが大事だと思う。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○アイヌの人々の気持ちに寄り添い、現在に残る文化を大切にしようとしている生徒の気づきを意味づける。 ○アイヌの伝統や文化の学習を通して学んだことを自分の身近な生活と比較検討している考えが出たら、どんな点で共通しているのかなど問い返ししながら、意味づける。(思考・判断・表現)

補足

- 『『イランカラプテ』～アイヌ民族の誇り～』（あけぼの 人間に光あれ）6訂版の内容
豊かな文化、被差別の歴史と差別との戦いに学び、現在のアイヌの人々の思いを知ることを通して、「新たなパートナーシップ」として認識を育むことを願って教材が作成されている。
 - ・日本は「単一民族国家」？
 - ・和人の侵略とアイヌのたたかい
 - ・私は『教科書の中の人』ではない
 - ・「先住民族」アイヌ
 - ・「飯田線開通につくした川村カネト」
- 『アイヌ民族：歴史と現在—未来を共に生きるために—』（発行：財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構）が各小中学校に1冊ずつ配布されている。
- 長野県におけるアイヌの業績を学ぶ資料として、「カネトものがたり」（あけぼの 小学生高学年向け 6訂版）が掲載されている。
- 長野県教育委員会事務局心の支援課発行の人権つうしん第57号『『アイヌ民族支援法』が成立（R1.8.20）第60号（R3.9.16）「『イランカラプテ（こんにちは）』も参考となる。